

平成22年11月18日
南海電気鉄道株式会社

30年の時を経て、みさき公園由来の血統が戻ってきました！

京都市動物園から来園

ハートマークのあるキリン「音羽」お披露目セレモニーの開催について

南海電鉄(社長：亘 信二)が経営する「みさき公園」(園長：三谷 良昭)では、京都市動物園とブリーディングローン契約(繁殖を目的とした貸借契約)を締結し、みさき公園由来の血統で、ハートマークを持つアミメキリン「音羽(オトワ)」が来園しました。これを記念して、11月26日(金)に「音羽」お披露目セレモニーを開催します。

みさき公園とキリンについて

みさき公園は昭和32年の開園以来、キリンの多産で有名となり、様々な動物園にキリンを提供してきたため「キリンのみさき公園」とも言われていました。しかし、平成16年3月にはキリンの在籍がゼロとなり、開園以来の血統が途絶えました。

このため「キリンが1頭もないのはあまりにも寂しい」と、同年に2頭を購入し、現在ではそのうちの1頭であるオスの「センイチ」を飼育しています。

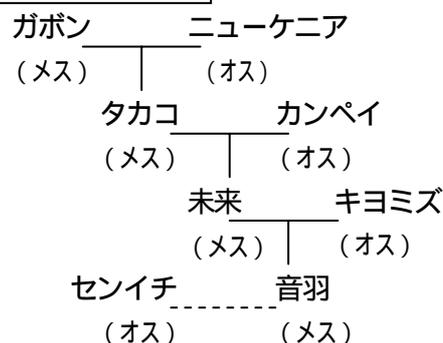
今回、みさき公園に来園した「音羽」は、京都市動物園で「ハートマークがあるキリン」として親しまれている「未来(ミライ)」を母に持ち、母と同じハートマークを受け継いでいます。系譜をたどっていくと、母「未来」は沖縄子どもみらいゾーンで「タカコ」(メス)から生まれ、祖母「タカコ」はみさき公園で「ガボン」(メス)から生まれました。つまり「音羽」はみさき公園の血統を持ち、「ガボン」のひ孫にあたります。

みさき公園では血統が断絶して以来、代々の園長をはじめスタッフ一同、血統の復活と「キリンのみさき公園」を再現したいと考えてきました。今後、「音羽」の成長に注力し、新たな命を授かることができるよう努めていきます。



昭和33年のみさき公園

音羽の家系図



「タカコ」などの繁殖を手がけた永田獣医師(元・みさき公園園長)のコメント
「『ガボン』のひ孫が元気に帰ってきてくれたことに感無量です。
手のかからない健康な素質を継いでいることを期待しています」

キリン「音羽」お披露目セレモニーについて

(1) 開催日時

平成22年11月26日(金) 10時00分～10時30分

(2) 場 所

みさき公園(キリン舎前)

(3) スケジュール

9時30分～9時55分	プレス受付開始(メインゲート前)
10時～	開会の辞・主催者挨拶 挨拶：南海電鉄 鉄道営業本部 副本部長 沼守 則幸
10時05分～	来賓祝辞 京都市動物園 園長 長谷川 淳一様 岬 町 町長 田代 堯様
10時15分～	色紙および花束贈呈 色紙：みさき公園園長から京都市動物園園長様へ スタッフからの感謝メッセージを記載した色紙を贈呈 花束：地元・岬町の幼稚園児代表から両園長へ
10時20分～	キリン「音羽」登場 園児の呼び込みの掛け声で「音羽」が登場
10時30分	閉会の辞

動物の体調などにより、スケジュールを変更することがあります。

(4) 出席者

ご来賓

京都市動物園 園 長 長谷川 淳一(ハセガワ ジュンイチ)様
岬 町 町 長 田代 堯(タシロ タカシ)様
淡輪幼稚園・淡輪保育所・深日保育所の園児一同(計203人)

主催者

南海電鉄 鉄道営業本部 副本部長 沼守 則幸(ヌマモリ ノリユキ)
南海電鉄 鉄道営業本部 営業部長 佃 吉朗(ツクダ ヨシオ)
みさき公園 園 長 三谷 良昭(ミタニ ヨシアキ)
永田 新吾(ナガタ シンゴ) 獣医師(元みさき公園園長)も出席いたします。

《参 考》

(1) 音羽の系譜

- 昭和54年 5月16日 みさき公園にて母ガボン、父ニューケニアの間にタカコ(メス)生まれる。
- 昭和55年 6月23日 タカコが沖縄こども未来ゾーンへ移動
- 平成13年 3月24日 タカコとカンペイの間にミライ(メス)生まれる
- 平成17年10月24日 ミライが京都市動物園へ移動
- 平成21年 7月11日 ミライとキヨミズの間に音羽(オトワ)生まれる
- 平成22年11月15日 音羽がみさき公園へ移動 (みさき公園センイチとのペア)

(2) 京都市動物園について

住 所 京都市左京区岡崎法勝寺町 岡崎公園内

園 長 長谷川 淳一

概 要 明治36年4月に開園した全国で2番目の歴史ある動物園であり、最近では京都大学との間に「野生動物保全に関する教育及び研究の連携に関する協定書」を締結し、全国で初めて大学教員が常駐する動物園として、先駆的な取組みを進めている。

以 上